



Plant Plant Plant



卒業制作にあたり、

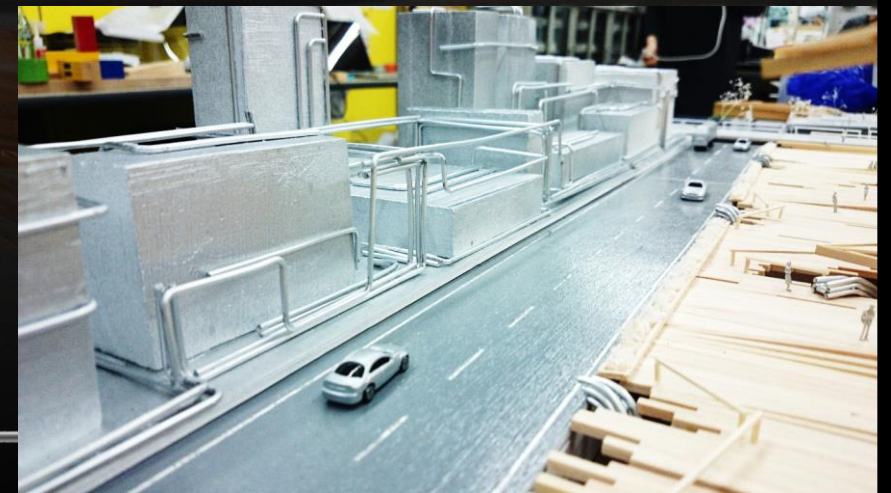
人の生きる意味を考え続けた4年間でした。
得た結論は、地球の一部であるということ。
地球体としての子孫繁栄、持続可能な社会を作ることです。
サステナブルをテーマに置いた今回の研究では、貴事業概念に沿った大規模木造建築を設計しました。

製品を生み出し、汚水や騒音を排出する工場地帯に着目し、計画地としました。機能の流れが一方通行である現状から、そこには循環機能を持つ装置が必要だと考えました。
提案として、吸収することを連想させる生物的建築を目指し、自然の神である“龍”をデザインモチーフに取り入れました。



システムは植物の工場として周囲から排出された二酸化炭素をエネルギーへと変換させるほかに、周辺工場から排出された訳アリ製品を取り込んだ直売所となっています。
商業施設の機能として捨てるはずであった製品の購入を促す場を作ることによって新たな循環ラインを作り出します。同時に、工場夜景を楽しむという夜の一方通行を昼間も楽しめる工場地帯へと循環させる装置になります。
この計画では動線計画に工業パイプを用いる等、周囲環境との一体化を目指した工夫が盛り込まれています。

タイトルである“Plant Plant Plant”には植物の工場という意味に加え、訪れた人に地球体の一部であるという思想を植えられたらという想いを込めました。



地下に植物工場を配置することで、紫色LEDライトを照明器具として利用する計画を行います。

